

直竇ニ入ル

〔五〕下小腦靜脈

ヘ子<sub>1</sub>イ<sub>1</sub>ン<sub>1</sub>ヘ<sub>1</sub>リ<sub>1</sub>セ<sub>1</sub>レ<sub>1</sub>メ<sub>1</sub>リ<sub>1</sub>小腦下面、ハロリ

氏橋延髓ヨリ來リ下岩竇前後后頭竇ニ入ル

〔六〕腦膜靜脈

ニ子<sub>1</sub>ゲ<sub>1</sub>エ<sub>1</sub>メ<sub>1</sub>各其近傍ノ靜脈竇ニ入ル

但中腦膜靜脈ハ棘孔ヨリ頭蓋外ニ出テ内頸靜脈

靜脈ニ入ル

ノ枝ニ入ルトシテ之レ有リ

〔七〕眼靜脈

フヘ子<sub>1</sub>ル<sub>1</sub>チ<sub>1</sub>テ<sub>1</sub>其經過動脈ニ同シ但上眼窩破

裂ヲ過テ頭蓋内ニ來リ腔竇ニ入ル

〔八〕内耳靜脈

ヘ子<sub>1</sub>イ<sub>1</sub>ン<sub>1</sub>テ<sub>1</sub>ル<sub>1</sub>チ<sub>1</sub>ヘ<sub>1</sub>内聽道及兩導水管

ヨリ來リ下岩竇前後頭竇ニ入ル

〔九〕隔板靜脈

即ヘ子<sub>1</sub>蓋<sub>1</sub>骨<sub>1</sub>靜脈<sub>1</sub>即頭蓋骨靜脈

部ノ靜脈竇ニ入リ或ハ頭蓋外面ニ出ツ

普通顔靜脈

ヘナ<sub>1</sub>フ<sub>1</sub>シ<sub>1</sub>ア<sub>1</sub>リ<sub>1</sub>ス<sub>1</sub>ユ<sub>1</sub>ミ<sub>1</sub>ニ<sub>1</sub>ス<sub>1</sub>

前後顔靜脈相會シテ成ル下顎角ヨリ外喉動脈ノ外

側ニ沿テ后下ニ走リ普通喉靜脈ニ入ル此經過間ニ

上甲狀腺靜脈ヲ受ク時トシテ舌靜脈咽靜脈ヲ受ク

〔甲〕前顔靜脈

スヘナ<sub>1</sub>ア<sub>1</sub>ン<sub>1</sub>テ<sub>1</sub>リ<sub>1</sub>チ<sub>1</sub>ル<sub>1</sub>其經過分枝共ニ外頸

動脈ニ同シ

〔乙〕後顔靜脈

スヘナ<sub>1</sub>ハ<sub>1</sub>シ<sub>1</sub>ア<sub>1</sub>リ<sub>1</sub>其經過分枝共ニ内頸

動脈顯顛動脈ニ同シ

鎖骨下靜脈

ヘナ<sub>1</sub>シ<sub>1</sub>ブ<sub>1</sub>カ<sub>1</sub>ラ<sub>1</sub>ヒ<sub>1</sub>ア<sub>1</sub>

其經過鎖骨下動脈ニ同シ但前不正頸筋ノ前ヲ行ク



表頸靜脈

兩側各四箇

〔一〕外喉靜脈 ヘナ エキ ユギ ヲラ トリス 后耳動脈后頭動脈  
 ト經過ヲ同シ而テ乳頭鎖骨筋ヲ超エテ下リ鎖骨中  
 央ニ於テ鎖骨下靜脈若クハ普通喉靜脈鎖骨下靜脈  
 會合部ニ入ル

〔二〕前喉靜脈 スヘナ ア ユギ ヲラ トリス 舌骨ノ部ニ於テ皮膚  
 靜脈ヨリ起リ其始メ直下シ而後外走シ外喉靜脈若  
 クハ鎖骨下靜脈ニ入ル

〔三〕橫頸靜脈 ヘルナ サ ダ ヲラ ンス

〔四〕橫肩胛靜脈 ルヘナ サ ダ ヲラ ンス

共ニ其同名動脈ト經過ヲ同フス

深頸靜脈

下甲狀腺靜脈 アヘナ イ ナレチ イデ

椎靜脈 ブレナ リヘル テ

深項靜脈 リスナ セル ヒカ ー

皆其同名動脈ト經過ヲ同フス

腕靜脈

表深ノ別アリ

深腕靜脈ハ其經過分枝共ニ同名動脈ニ同シ但靜脈  
 ハ二箇ニシテ動脈其間ヲ行ク上臂中央ニ至テ兩箇  
 相合シテ一幹トナリ上臂内側ヲ上行ス



表腕靜脈ハ三箇アリ其二箇ハ手背靜脈網ニ源ヲ取  
 ル此網中ノ大ナル靜脈季指側ニ於テハ季指靜脈ナ  
 ハサラハ拇指側ニ於テハハ拇指靜脈ヘナナ  
 リ其一箇ハ手掌面ヨリ起ル○季指靜脈ハ前腕ニ至  
 リテ表正肘靜脈シヘナナカバトナル此レ前腕内側ヲ上  
 リテ臂皺襞ニ至リ而後二頭腕筋内縁ニ沿テ上リ深  
 腕靜脈ニ連ナル拇指靜脈ハ前腕ニ至リテ表轉肘靜  
 脈ヘナナセトナル此レ前腕外側ヲ上リテ臂皺襞ニ  
 至リ而後二頭腕筋長後轉筋ノ間ヲ行キ上ツテ三角  
 腕筋大胸筋ノ間ヲ經テ腋下靜脈ニ入ル手掌ヨリ起  
 ル靜脈ハ前腕中央ヲ上リ中腕靜脈ヘナナメトナル

臂皺襞ニ至テ兩分シ其一ハ轉肘靜脈ニ連ナル之ヲ  
 中轉肘靜脈ヘナナメト云其一ハ正肘靜脈ニ連  
 ル之ヲ中正肘靜脈ヘナナメト云此兩肢ノ前更  
 ニ一枝ヲ分チ深腕靜脈ニ連ル

胸廓靜脈

胸廓ノ諸靜脈亦皆同名動脈ト其經過分枝ヲ同フス  
 但別ニ不對半不對ノ兩靜脈アリ  
 不對靜脈シヘナスア腰靜脈ヨリ起リ横膈内脚ノ間ヲ  
 過キテ胸廓ニ來リ椎柱右側ニ沿テ上リ第四若クハ  
 第三胸椎ノ部ニ於テ屈曲シ右氣管枝右肺動脈ヲ踰  
 ヘテ上腔靜脈ニ入ル此經過間ニ右肋間靜脈ヲ盡ク



受ケ左肋間靜脈ヲ少シク受ケ及半不對靜脈右氣管  
 枝靜脈ヲ受ケ亦後中央膜腔靜脈食道靜脈ノ諸枝ヲ  
 少シク受ク  
 半不對靜脈アヘナゴスヘミ亦腰靜脈ヨリ起リ横膈中外  
 二脚間ヲ過テ胸腔ニ來リ椎柱左側ヲ上リ第九若ク  
 ハ第八胸椎ニ至リ右ニ屈曲シ大動脈及胸管ノ後ヲ  
 過テ不對靜脈ニ入ル此經過間左下肋間靜脈ヲ受ク  
 左上肋間靜脈ハ或ハ不對靜脈ニ入り或ハ半不對靜  
 脈ニ入ル  
 以上兩靜脈ハ普通膝靜脈腎靜脈ヨリ來ル枝アルニ  
 由テ亦下腔靜脈ニモ連ル

脊椎靜脈

〔一〕椎柱外靜脈叢 プレスキシユスス椎柱外側ニ  
 在テ椎間孔ヨリ内靜脈叢ト連ナル此叢ヨリ椎靜脈  
 后頭靜脈肋間靜脈腰靜脈ニ血液ヲ輸送ス  
 〔二〕前内靜脈叢 プレスキシユスアソビナレヌイ椎體  
 ノ後硬脊髓膜ノ前ニ在リ首トシテ縦行ノ靜脈ヨリ  
 成リ又后内叢ト連合ス  
 〔三〕後内靜脈叢 プレスキシユスアソビナレヌイ椎弓  
 ノ前硬脊髓膜ノ後ニ在テ前内叢及椎柱外叢ニ連ナ  
 ル

〔四〕椎體靜脈 ヘルテブラーシース椎體ヨリ出テ前内叢



ニ入ル

〔五〕脊髄靜脈 ヘチ スビ メ シ レ 脊髄ヨリ出テ神經ト

共ニ椎間孔ニ向テ進ミ前後ノ内叢ニ入ル

下腔靜脈 ヘチ カ フ イ ン ヘ リ オ ル

左右膝靜脈第五腰椎前ニ至テ相合シ以テ下腔靜脈

ヲ成ス此レ障膜ヲ有セス大動脈腹部ノ右側ニ沿テ

上リ肝右縦窩後部ヲ經テ横膈ノ四角孔ヲ過キ心囊

中ニ入り心右前室ニ口ヲ開ク此經過ニ以下ノ靜脈

ヲ受ク

〔二〕腰靜脈 ム バ レ ス リ 其經過動脈ニ同シ但シ不對靜

脈半不對靜脈ニ連ナル

〔二〕内精靜脈 セ ー イ ン テ ル チ ー チ 其經過亦動脈ニ

同シ精系ノ周圍ニ於テ大ナル靜脈叢ヲ成ス之ヲ葡

萄蔓叢 ム ピ ニ ホ ル ミ ス ト云但左則ノ靜脈ハ毎ニ腎

靜脈ニ入ル

〔三〕腎靜脈 ナ ー レ ス レ 兩側各四或五箇アリ左ハ右ヨ

リ差高クシテ大動脈前上腸間膜靜脈下ヲ行ク

〔四〕副腎靜脈 ラ ー レ ナ ー レ ス プ 左右各二或三箇アリ左ハ

通例腎靜脈ニ入ル

〔五〕肝靜脈 パ ー チ ー ヘ 組織學ニ於テ論ス

〔六〕下横膈靜脈 ヘ ー チ ー ヘ 組織學ニ於テ論ス

〔七〕臍靜脈 リ ー カ ー リ ム ビ 只胎兒ニ之レ有リ出産後變



シテ線糸トナル此レ臍ヨリ肝左縦窩ノ前部ニ至ル  
此即肝圓韌帶ナリ而後アラシチ氏靜脈路ノ稱ヲ  
得テ下腔靜脈ニ入ル

普通膝靜脈 ヘチーイリアセー ユミチス

腸骨薦骨關節部ニ於テ骨盤靜脈外膝骨靜脈會合シ

テ成ル同名動脈ノ内側ニ沿テ上リ下腔靜脈ニ達ス

骨盤靜脈 ヘチーヒボガストリカ

其經過枝分同名動脈ニ同シ而シテ處々ニ大ナル血

管網ヲ成ス

〔一〕直腸靜脈叢 プレキシウスヘ直腸ノ周圍ニ在テ門

脈ニ連ナル

〔二〕膀胱叢 プレキシウス膀胱ノ周圍ニ在テ直腸叢耻

叢ニ連ナル

〔三〕耻叢 プレキシウス下弓狀韌帶ノ後尿道攝護腺

ノ周圍ニ在テ此部ノ靜脈及陰莖ノ靜脈ヲ受ク

〔四〕脛及子宮叢 プレキシウスハギナリー子宮廣韌帶

ニ板間ニ於テ脛及子宮ノ側壁ニ纏絡ス

脚靜脈 ヘチーコリュラリス

外膝靜脈ハ同名動脈ノ内側ニ在テ下肢表深ノ靜脈

ヲ受ク

下肢深靜脈ハ同名動脈ト其經過ヲ同フス但シ下脚

及足部ニ在テハ靜脈二糸アリ其中間ヲ動脈通行ス



靜脈學

熊本醫學校

下肢表靜脈ハ二箇ニシテ足部ノ靜脈叢ヨリ起ル  
 其一小母靜脈エキステルナ外踝ノ後ヲ繞リアッヒ  
 リス隼ノ外側ニ沿テ上リ腓腸筋兩頭ノ間ヨリ膝窩  
 ニ來リ膝窩靜脈ニ入ル  
 其第二大母靜脈イナテルナ内踝前ヲ繞リ下脚内側  
 ニ沿テ上リ股骨内拳子後ヲ繞リ縫工筋ニ沿テ上リ  
 表股鞘篩板ノ卵圓窩ヲ過キ深股靜脈ニ入ル  
 門脈ヘナポルタ一  
 胃脾臍及上下腸間膜等ノ靜脈臍頭ノ後ニ於テ會合  
 シテ成ル小網二板間ニ於テ總膽管ト肝動脈ノ間ヲ  
 經テ肝門ニ至ル是ヨリ枝分シテ肝中ニ布蔓ス其狀

組織學ニ詳ナリ門脈ハ障膜ナク下腔靜脈ト聯合ス  
 而シテ此脈ヲ成ス所ノ諸靜脈ハ其經過腹部大動脈  
 諸枝ト同シ

靜脈學

日構筆記

四十一 熊本醫學校



Faint bleed-through text from the reverse side of the page, including characters like 水脈, 組織, and 空隙.

水脈 即淋巴管ハサ

水脈ノ源ハ組織間至細ノ空隙ヨリ起リ内ニ淡黄透

明ノ液ヲ含ム腸管系統ヨリ起ル者ヲ乳糜管ハサ

ヲ又ハサト云内ニ白色乳様ノ液ヲ盈ツ皆胸管

右水脈幹ニ歸ス

水脈ニ深淺二種ヲ別ツ深脈ハ血管ト經過ヲ同フシ

淺脈ハ初乙膜ノ下ニ在リ皆障膜ヲ具有ス其障膜ア

ルノ部ハ外面膨脹シテ結節狀ヲナス故ニ水脈處々

凸凹怡々貫珠ノ如シ又各處ニ腺アツテ水脈之ニ連

ナル之ヲ水脈腺ガラリムハチセリト云此線ノ形圓或

ハ卵圓大サ豌豆ノ如シ其外部ハ灰白赤色ニシテ内



部ハ頗ル赤シ其一邊ニハ水脈ノ入口アツテ一邊ニ  
 ハ出口アリ此脈亦深淺ノ別アリ淺水脈脈ハ毎ニ關  
 節ノ屈曲側ニ在リ深水脈脈ハ毎ニ内臓ヨリ起ル所  
 ノ水脈ニ連ル  
 胸管 デクナヌス トーラチキヌス  
 第一若クハ第二腰椎部ニ於テ三幹ヨリ起ル即左右  
 幹及中幹ナリ左右幹 トリュンキヌス エトムバニリス  
 ルハ骨盤生殖器腹壁ノ一部下肢ノ水脈會合シテ成  
 ル中幹 トリュンキヌス インハ乳糜管盡ク會合シテ成  
 ル胸管ハ大動脈右側ニ在テ之ト共ニ横膈ヲ過キテ  
 胸腔ニ入り第四胸椎ニ至リ大動脈弓食道ノ後ヲ過

キ上ツテ第七頸椎ノ左側ニ至リ前外ニ屈曲シ左方  
 ノ鎖骨下靜脈普通喉靜脈會合ノ隅角ニ入ル此經過  
 間ニ肋間脈中央膜脈左頸左上肢ノ脈ヨリ水脈ヲ受  
 ク  
 右水脈幹 トリュンキヌス リムハチキヌス デキヌス  
 右頸右上肢ノ水脈會合シテ成リ右鎖骨下靜脈右普  
 通喉靜脈會合ノ隅角ニ入ル  
 頭頸水脈

〔甲〕頭蓋外ノ水脈ハ后頭脈后耳脈前耳脈ニ連ル

后頭線 ガラシンデ レ タ リ ス 項ノ上部ニ在リ

后耳脈 ガラシンデ レ ボ ス テ リ チ キ ス 耳後ニ在リ



龍耳腺ガラスンデアンテアウリキユラ  
ニ在リ

〔乙〕頭蓋内ノ水脈ハ血管ト共ニ同ク孔穴ヲ過テ頭蓋外ニ出ツ

〔丙〕顔面ノ淺水脈ハ前顔静脈ト其經過ヲ同フシ下顎縁ノ下顎腺マガランデラレスニ連ナル

眼鼻ニ腔食道頭顛顛窩翼口蓋窩ノ水脈ハ盡ク深顔腺ガランデンハシアニ連ナル此腺ハ下顎枝ノ内側食道頭ノ側傍ニ在リ

〔丁〕頭ノ一部頸項ノ一部ヨリ起ル水脈會合シテ外喉静脈叢プレキスエキステルニステ成ス此叢ハ胸骨乳

頭筋上ノ表頸腺ガランデレヒナアレスニ連ナル

頭蓋内ヨリ出ル水脈ハ深顔腺下顎腺及舌喉頭ヨリ出ル水脈ト會合シテ上深頸腺ガランデレヒナアレスニ連ナル

デレヒナアレスニ連ナル此間ニ内喉静脈水脈ハ下行シテ下深頸腺ニ連ナル

脈叢ヲ成ス表頸腺ヨリ出ル水脈之ニ會ス下深頸腺ガランデレヒナアレスニ連ナル

普通喉静脈會合ノ隅角ニ在リ此腺ヨリ出ル諸水脈會合シテ喉静脈幹トナリ右ハ右水脈幹左ハ胸管ニ入ル



上肢水脈

上肢淺水脈ハ臂皺襞ノ腺ニ會シ又深水脈ニ聯合ス  
 深水脈ハ則チ血管ト經過チ同フス此深淺二脈及肩  
 項背胸深淺ノ水脈相會シテ以テ腋下腺ヲ成ス腋下  
 腺キガラシラデレ其數十乃至十二箇腋下血管ノ周  
 圍ニ在リ此ヨリ出ル水脈相會シテ鎖骨下幹トナリ  
 右ハ右水脈幹左ハ胸管ニ入ル

胸腔水脈

肋間水脈前後中央膜腔水脈肺水脈アリ  
 肋間水脈ハサリムハチカイ肋間筋腹筋胸膜横  
 膈背筋ヨリ起源シ同名血管ト經過チ同フス十六乃

至二十箇ノ肋間腺ヲ通過シ又後中央膜腔腺下深頸  
 腺ニ連係ス而シテ肋間腺ヨリ出ル諸枝ハ胸管ニ入  
 ル

後中央膜腔水脈メハサリムハチカカヒシ心臓  
 横膈食道后中央膜腔壁ヨリ起リ八乃至十二箇ノ腺  
 ヲ通過シテ胸管ニ入ル

前中央膜腔水脈メハサリムハチカアヒシ肝心  
 心囊腹壁前中央膜腔壁ヨリ起リ二十箇ノ腺ヲ通過  
 シテ胸管ニ入ル

肺水脈ハサリムハチカ此レ淺深ノ別アリ淺脈ハ  
 胸膜ノ下ニ在リ深脈ハ肺ノ血管ト經過チ同フス淺



深共ニ肺根ニ至テ相會合シ而シテ二十乃至三十箇ノ氣管支脈ヲ成ス此脈ハ成人ニ在テハ灰白黑色ナリ此ヨリ出ル水脈ハ胸管右水脈幹ニ入ル

下肢及骨盤水脈

〔一〕下肢水脈亦淺深ノ別アリ淺脈ハ兩母靜脈ト經過チ同フシ膝窩脈ヲ通過シテ上行シ表鼠蹊脈ニ連ナル深脈ハ深血管ト經過チ同フシ皆膝窩脈ヲ通過シテ二乃至六箇ノ深鼠蹊脈ニ連ナル

〔二〕骨盤水脈

〔甲〕腰部腹壁ヨリ起ル淺水脈ハ表鼠蹊脈ニ入ル

〔乙〕生殖器淺水脈亦表鼠蹊脈ニ入ル

〔丙〕外腸骨叢

鼠蹊脈ヨリ出ル枝共ニ此叢ニ入ル此レ外腸動脈ノ傍ニ在テ其間ニ六乃至八箇ノ脈アリ

〔丁〕内腸骨叢

周圍ニ在テ八乃至十二箇ノ脈ヲ含ミ鼠蹊脈及外腸

骨脈ト連係ス

〔戊〕中薦骨叢

水脈ヲ受ク薦骨尾骶骨前面ニ在テ四箇乃至五箇ノ

脈ヲ含ム此ヨリ出ル水脈ハ腰脈ニ達ス

腹腔水脈

腹腔ノ水脈ハ下腔靜脈及門脈ノ諸枝ト畧經過チ同



フシ奇叢及偶叢ヲ成ス  
 (一)偶叢 即腰叢 リムレキリス 腹膜後兎筋ノ前ニ在テ  
 二十乃至三十箇ノ脈ヲ含ミ睪丸及其諸衣膜卵巢子  
 官腎副腎橫膈S字弓腹壁ノ水脈ヲ受ク此叢ヨリ出  
 ル水脈相會シテ左右兩大幹トナル是ヲ腰幹トス兩  
 幹遂ニ合シテ胸管トナル  
 (二)奇叢 即内臟叢 スウレキリス 腹部大動脈上腸間膜  
 動脈内臟動脈門脈ヲ圍繞シ十六乃至二十箇ノ脈ヲ  
 連綴ス此脈ヨリ出ル枝ハ會シテ一幹トナル是中幹  
 ナリ  
 奇叢諸部各説

(甲)淺深胃水脈之ヲ左上下三叢ニ分ツ此叢内十乃至  
 十六箇ノ胃網脈ヲ含ム  
 (乙)淺深薄腸水脈ハ薄腸間膜二板間ニ在リ此部ノ脈  
 ハ三列ヲナス之ヲ腸間膜脈 メララインヂセル ト云凡百  
 三十乃至百五十箇アリ  
 (丙)厚腸水脈ハ厚腸間膜二板間ニ在テ其脈ハ三十乃  
 至五十箇アリ  
 (丁)脾水脈八乃至十箇ノ脈ヲ通過ス  
 (戊)肝水脈淺深ノ別アリ遂ニ相會シテ肝門ニ至リ内  
 臟叢ニ入ル但其一二枝ハ前中央膜腔叢ニ入ル  
 水脈學畢



白川縣 田代文基筆記

系統記載解剖學第五編尿管學畢公之其籍内十八頁

尿管學正誤

一葉 後面 十行 横膈ハ横膈ノ誤以下皆然

十七葉 後面 五行 メデアスナナーレスハメ

デアスナナーレスノ誤

三十四葉 後面 七行 ナフタル、ナエーハナフタル

ミナエーノ誤

三十九葉 前面 三行 則ハ側ノ誤

四十二葉 前面 九行 怡ハ恰ノ誤



Vertical text on the right edge of the page, possibly bleed-through from the reverse side or a marginal note.

一	卷四	十	...
十	卷五	...	...
三十	卷六	...	...
四十	卷七	...	...
五十	卷八	...	...
六十	卷九	...	...
七十	卷十	...	...
八十	卷十一	...	...
九十	卷十二	...	...
一百	卷十三	...	...

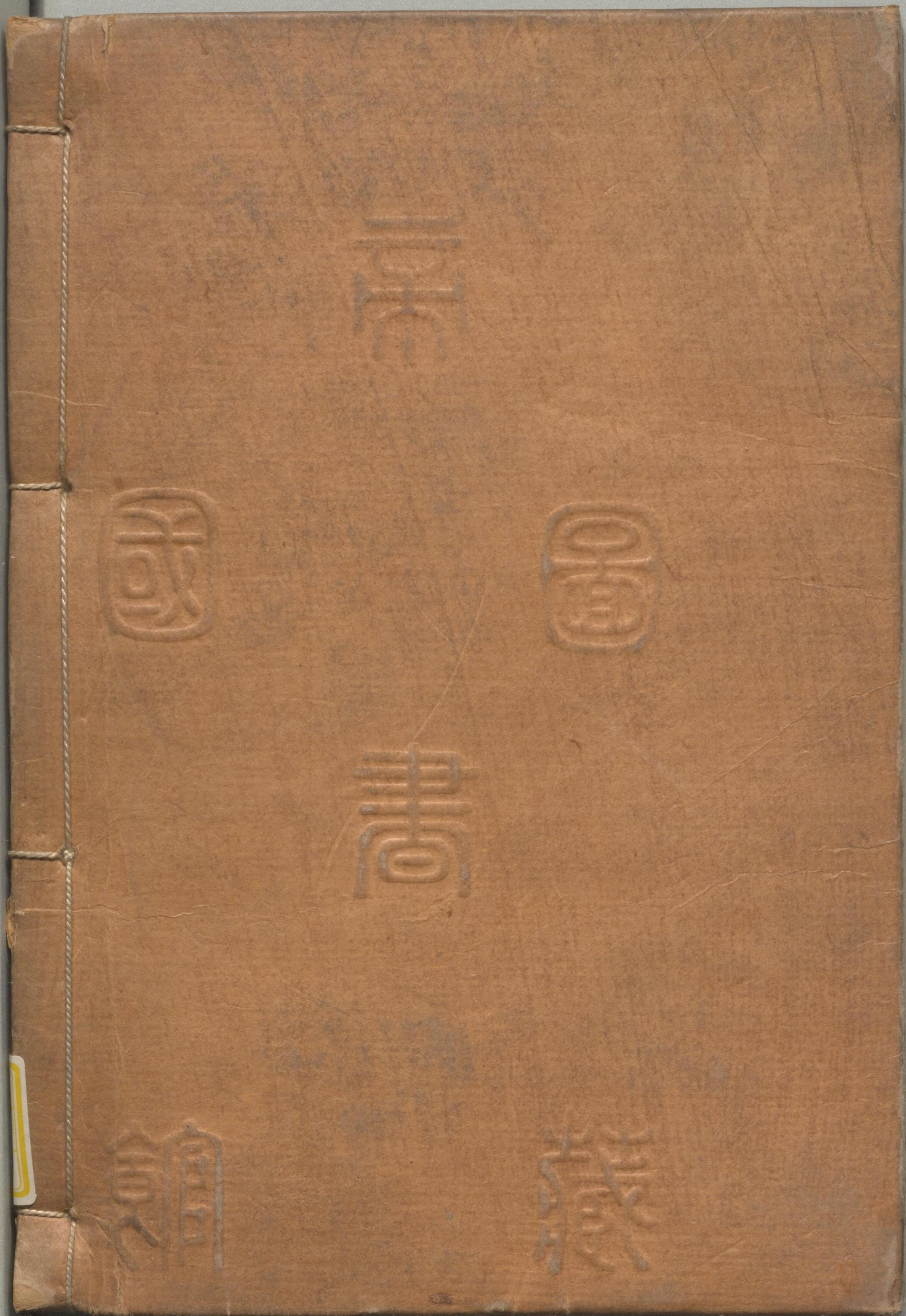
Vertical text on the left side of the table, likely a page number or chapter indicator.



8  
5  
111

Vertical text on the right edge of the right page, likely bleed-through from the reverse side. The text is arranged in columns and is mostly illegible due to fading and the texture of the paper.





陳

國

圖

書

卷

一